

## ふれあい宅配



### 【野跡学区】

■世帯数：1,485 世帯

■人 口：3,479 人

■面 積：4.732 k m<sup>2</sup>

平成 24 年 4 月 1 日現在

### 1 活動・取り組みの内容

- ・ 日常的な買い物に行くための交通手段を持たない、“買い物難民”と呼ばれる人のために、野跡学区市営稲永荘において、買い物支援サービス「ふれあい宅配」を実施している。
- ・ 毎週火曜日及び金曜日の午前 11 時から午後 2 時の間、稲永荘の集会所にてタブレット端末を使用し、ネットスーパーを活用して買い物を行う。注文した商品は、翌日事業者により自宅に配達される。参加者数は約 100 人。

#### 【住民への PR 方法】

チラシの各戸配布、回覧、掲示板への掲示

#### 【アピールポイント】

食料品や日用品の買い物にも困っている“買い物難民”を支援するため、社会福祉協議会や企業と連携して、宅配サービスを行っている。

### 2 きっかけ、背景

「足腰が悪く買い物に行くのが不便」「重たい物が運べない」などの高齢者からの要望により、買い物支援ふれあい宅配が始まった。

### 3 実施の体制

#### (1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、  
民生委員児童委員、保健委員  
計約 20 人

#### (2) 他団体との協力

港区社会福祉協議会、企業と区政  
協力委員で、「買い物支援プロジェク  
ト会議」を設置

#### (3) 運営協力

各自治会の若い世代をリーダー  
として育成

### 4 実施のスケジュール

H24 年 1 月 31 日 ふれあい宅配実施に向けた検討  
を実施

4 月 28 日～ 11 月 1 日 買い物支援プロジェクト会議を  
月 1 回、計 7 回開催

9 月 7 日 ふれあい宅配を開始

9 月 7・8 日 オープニングイベントを開催

以降毎週火・金曜日に実施

### 5 成果と課題

#### (1) 成果・効果

- ・集会所で商品の注文を行うことを通じ、今まであまり関わりのなかった人たちと、一緒にお茶を飲みながら仲良く話すことができるようになり、住民間の助け合いの関係が構築できた。

#### (2) 苦労した点

- ・タブレット端末を利用して商品を注文するため、タブレット端末の利用や、ID・パスワードになじみのない方に参加してもらうこと。
- ・活動の担い手不足と他団体との協力体制を築くこと。

#### (3) 今後の課題・展望

- ・活動の継続と他団体との協力が今後の課題。
- ・買い物支援を通じて、新しいボランティアの仕組みや、高齢者の安否確認など地域福祉の推進につなげていきたい。

#### (4) アドバイス・メッセージ

- ・活動にあたっては、社会福祉協議会と連携して進めていくことが重要です。

